

糸魚川市環境基本計画 指標の変更について

基本目標	取組の方針	現 指標	新 指標	新 目標値		R5年度(現状)	説明
(1) 地球にやさしい人が育つまち ＝地球環境＝	1 地球温暖化の緩和策の推進	C O2排出量	C O2排出量	280千トン-CO2	2030年度 (R12年度)	370千トン-CO2 (R3年度)	・ 2013年度（H25年度）と比較し、2030年度（R12年度）の排出量を26％減から46％減に変更する。 （自治体排出量カルテより）
		新規就業者数（林業）					
	2 地球温暖化適応策の推進						
	3 再生可能エネルギーの導入促進	再生可能エネルギー利用公共施設数 市民の再生可能エネルギー設備導入状況	FIT再エネ導入容量（KW）	42,405KW	2030年度 (R12年度)	40,685KW (R3年度)	・ 現状から新エネビジョンプロジェクトの再エネ導入規模 1,720KW増を目指す。 ※2,092世帯/年分（自治体排出量カルテより）
(2) 生きものと大地の営みを感じるまち ＝自然環境＝	4 大地とふれあうジオパークの保全・活用	新規就農者数	ジオパーク講座開催件数	12回/年	R10年度	10回/年	・ 新規就農者数の目標を達成したため、後期は、ジオパーク講座の開催数とする。
	5 生物多様性保全と持続的な利用						
	6 暮らしが息づく農村環境の継承	認定農業者数	新規就農者数	4人/年	R10年度	4人/年	・ 安定的な農業経営を目指すため、年平均4人程度の新規就農者を目標とする。
			多面的機能支払交付金対象面積	1,400ha	R10年度	1,453ha	・ 稲作や水田の維持管理、共同での用水管理などに支払われる交付金で、その対象となる面積を目標とする。
(3) 物を大切に使い、資源が循環するまち ＝資源循環＝	7 ごみ減量化・3Rの推進	1人1日当たりのごみ総排出量	1人1日当たりのごみ総排出量	911g	R10年度	1,002g	・ 今年度、一般廃棄物処理基本計画の中間見直しがあるため、その数値を目標とする。 ・ 決定するまでの間は、現目標数値とする。
	8 ごみの適正処理の推進	1人1日当たりの家庭系ごみ総排出量（資源のぞく）	1人1日当たりの家庭系ごみ総排出量（資源のぞく）	551g	R10年度	665g	
(4) 安全・安心、みんなが笑顔で暮らすまち ＝生活環境＝	9 環境公害の継続的な監視と抑制	大気環境・水環境に関する環境基準値達成割合	環境測定基準達成割合（地点数）	90.0%	R10年度	88.8%	・ 計算方法を地点数による達成割合に変更する。（大気・水・騒音・悪臭の平均）
	10 非常時の安心・安全に向けた対策の強化						
	11 自発的な環境美化・清掃活動の推進	環境美化パートナー団体数	環境美化パートナー団体数	50団体	R10年度	35団体	・ R10年度の目標値を50団体とする。
		環境デーの実施地区					
(5) 1人ひとりが行動し、環境保全に取り組むまち ＝環境行動＝	12 環境に対する意識啓発と情報提供	出前講座の開催数	SNS発信回数	50回	R10年度	—	・ 環境に関するSNS発信回数を、週1回程度、50回を目標とする。
	13 将来の環境の担い手を育成	ジオパーク検定合格者数（累計）	ジオパーク検定合格者数（累計）	2,700人	R10年度	2,162人	・ R10年度の目標を、2,700人とする。（人口減を加味し、120人増/年）

※黄色 指標変更
※緑 指標の計算方法変更